

平成 2015 年度 名古屋飛行場 管制交流会



去る平成 27 年 9 月 18 日、豊山町社会教育センターにおいて、昨年に引き続き、県営名古屋飛行場の管制交流会が開催され、管制官、自衛隊や民間のパイロットや各社の航務担当者など 30 名が参加しました。



JAPA 原中部支部長



小牧管制隊 尾内一尉



中部空港事務所 吉留氏

県営名古屋飛行場は、エアラインから GA のビジネスジェット、小型固定翼、ヘリコプタなどのほか、自衛隊の戦闘機、大型輸送機や救難機など多種多様な機体が生徒しており、管制は自衛隊が行うなどの特徴があります。

このような多種多様なトラフィックの多い環境下において、いかに安全を保ち、効率的に運航を行うか、管制官、各利用者双方が忌憚ない意見を交換し、管制官とパイロット、双方の理解、認識を一致させることが出来、有意義な交流会であったと思います。その中で、自衛隊が観測する気象データの提供要望や、RNAV DEP,ARR,APCH の設定要望など、ローカルのミーティングでは解決できない話題も出され、操縦士協会としてしかるべきところへの働きかけが必要ではないかと認識した。



交流会の後、席を移して催された懇親会では、日ごろ VOICE でしか認識していない管制官とパイロットが Face to Face でざっくばらんに話しあい、昼の部で語りきれなかった問題をつっ込んで話し合うなど、大変有意義な時間を持つことができました。